

科目名	がん看護学実習 I			分野・必選別・単位数	専門科目 (がん看護学)	選択	5単位
担当教員	◎教授 南川雅子					科目ナンバー	T2C137
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	前期	授業方法	実験・実習
授業の概要	がん看護専門看護師としての役割や機能を発揮するために必要な知識、技術、態度について体験的に学習し、専門看護師としての高度な看護実践能力を習得する。						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. がん看護専門看護師に同行し、がん専門看護師としての諸活動が行われている場への主体的な参加を通し、役割と機能を説明できる。</li> <li>2. 患者の特性をトータルペインの視点でとらえ、健康問題を明確にできる。</li> <li>3. 緩和ケアチームや緩和ケア病棟の実践にメンバーの一員として参加し、がんに伴う複雑な病態や症状を併せ持つ患者に対する臨床判断と身体管理の方法を習得する。</li> <li>4. 緩和ケアチームや緩和ケア病棟の実践にメンバーの一員として参加し、トータルペインの緩和を目的とした医療者間の連携について理解し、がん看護専門看護師の役割について探求する。</li> </ol>						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【第1週目～第3週目】がん看護専門看護師同行実習 がん看護専門看護師に同行し、専門看護師の6つの役割と機能を説明できる。</p> <p>【第4週目】緩和ケアチーム実習 複雑な病態や症状を併せ持つ患者に対する臨床判断と身体管理の方法を習得する。 医療者間の連携について理解し、がん看護専門看護師の役割について探求する。</p> <p>【第5週目】緩和ケア病棟実習 患者をトータルペインの視点でとらえ、健康問題を明らかにする。 がん看護専門看護師のスーパーバイズを受けながら、高度な看護を実践する。</p>						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	実習目標達成に向けて、主体的に事前学習や記録に取り組む。					
	【事後学修】	実習中の疑問点をまとめ、文献等を利用し、翌日までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に75時間以上の予復習が必要。					
教科書	随時紹介する。						
参考書	随時紹介する。						
成績評価の方法および基準	課題の達成度80%、レポート20%により評価する。						
その他履修上の注意事項	1日の実習時間は1限から4限までとする。 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						